

令和4年度及び令和5年度静岡大学自己点検・評価結果に基づく改善策

No.	改善事項	改善計画	実施時期	推進責任者
1	「成績評価に関する全学的なガイドライン」の策定	成績評価の点検を行うにあたっての全学的な基準となる「成績評価に関する全学的なガイドライン」を策定する。	令和5年度	全学教育基盤機構長
2	「教職履修カルテ」内の指標及び達成状況（学修成果）の確認方法の見直し	教員養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報としては「教職履修カルテ」の中で科目ごとに設定される”必要な能力の指標”が重要となるため、教職センターを中心に、各科目における指標及び全学で統一した達成状況（学修成果）の確認方法の見直しを行う。	令和6年度入学生から運用を開始	全学教育基盤機構長
3	教職課程に関するFD研修会の開催	教職課程に関する理解を深めるため全学を対象とした定期的なFD研修会を開催する。	令和6年度	全学教育基盤機構長
4	授業評価アンケートの実施	改正した『学生授業アンケート実施要項』に沿って、受講者が少数の科目を除き全ての教職科目において授業アンケートを実施する。	令和6年度	全学教育基盤機構長
5	教職課程の自己点検・評価に関する情報の公表	教職課程に関する自己点検・評価の結果及び改善事項の公表を行う。	令和6年度	全学教育基盤機構長
6	教員免許状取得希望学生に対する履修指導の見直し	学生の達成状況を確認する上では「教職履修カルテ」の中で科目ごとに設定される“必要な能力の指標”が重要となるため、教職センターを中心に、各科目における指標及び全学で統一した達成状況（学修成果）の確認方法の見直しを行う。	令和6年度入学生から運用を開始	全学教育基盤機構長
7	静岡キャンパスの教育学部エリアの再整備の推進	静岡キャンパスの再整備として、戦略的なスペースマネジメントによる経営資源の最大化を図るため、最も老朽化が進んでいる教育学部エリアを共通教育エリアと共に再整備することを検討し、計画を提案する。	令和6年2月	施設・環境マネジメント委員長

No.	改善事項	改善計画	実施時期	推進責任者
8	入学者選抜研究部会報告書の活用促進と分析方法の共通化	入学者選抜方法研究部会において次の方策を検討し、速やかに実施する。 1. 報告書の機密性が確保できる範囲内で学内でのより広い利用を促す方法を検討する。 2. 大学全体の傾向を把握し、部局間で結果を比較できるように、同じ分析方法による共通の内容を継続的に報告する構成を検討する。	令和5年度	全学教育基盤機構長
9	大学院入試の入試事故の再発防止	大学院教務・入試委員会において、募集要項が学生受入方針に沿った内容となるよう、募集要項作成時のチェックリストを作成・周知すると共に、各部局で定めている再発防止策を各部局で実施しているか確認し、必要に応じて更新・周知を行う。また、入試事故が発生することのないよう注意喚起を行う。	令和5年度	全学教育基盤機構長
10	入学定員充足率の適正化	大学院教務・入試委員会において各部局の入学定員充足率を確認する。また、大学評価の各評価区分における超過・充足率の基準を満たすため、入学定員充足率及び収容定員超過・充足率が「1.1倍以下、1.0倍以上」となるよう注意喚起を行う。	令和5年度	全学教育基盤機構長